

寺谷地区交通安全協会の活動 『思いやり・ゆずり合いの安全運転』

南総交通安全協会の組織は、11支部（光風台1.南総6.加茂4）、役員数は42名です。寺谷支部は5名で交通安全啓発活動を行っています。交通事故の遭遇は、一瞬の油断と不注意により、いつ加害者または被害者になるか、時には人生を激変させる事故もあります。ハンドルを握るときなどは周りの車の動きなどに注意し、思いやりの気持ちを持って、ゆずり合いの運転をすることが大切です。

○私たち5名が取り組む街頭啓発活動は、

1. 期間を定めて行う重点活動

◎年間の四季を通じた交通安全運動期間中は・・・

- (ア) 地域内2箇所街頭啓発
通勤車両の多い時間帯でドライバーへの注意喚起。
また通学生徒・児童の通学路での見守りを午前7時から8時まで
- (イ) 米澤交差点（牛久）で街頭啓発
夕暮れ時に、南総警察、南総・加茂支部合同で行う交通安全啓発物の配布及びのぼり旗の掲示
- (ウ) 交通安全教室のお手伝い
市役所が行う寺谷小学校児童への交通安全ルールの教示及び自転車の乗り方



全国交通安全運動

2. 日を定めて行う活動

◎アクション10(テン)・・・毎月10日を交通安全の日として、地域内2箇所を実施します。

3. その他・・・地域で活動する5名のメンバー

井場 毅(ときわ台)、佐久間 祥(西国吉台)、二藤部 明子(小勝山)、赤石 伸二(南岩崎) 大鐘 豊(寺谷) 交通安全協会寺谷支部：大鐘 豊

寺谷地区のサークル紹介シリーズ その6

「詩吟サークル」(吉野台健友会)

吟詠は、日本固有の伝統文化であり、古今先哲の歌により、人生を学びまた、歴史に触れて脳の活性化に役立ちます。さらに良いことに詩吟は腹式呼吸で吟じるので、ストレスの発散と健康増進にも役立っています。

会員数は、12名程度の総数精鋭ですが、元テイチク専属吟士を指導者に月2回、第1と第3金曜日に楽しい教室を開催しております。 健友会：高羽 和夫



「ふれあいサロン」で披露する健友会の皆さん(2020年2月)

安心訪問員活動をご存知ですか？

寺谷小域福祉ネットワークでは、町会・自治会から選出された「安心生活見守り支援・訪問員養成講座」を修了した安心訪問員による高齢者などの見守り活動を行っております。

詳細については、「小域福祉ネットワークだより第6号」または「安心生活見守り活動の紹介」をご覧ください。

不明な点は、熊坂(小域会長)または鶴岡(安全安心支援班班長)にご連絡下さい。



編集後記

・各班の活動報告は、会長の意向により初心に帰り、小域ネット活動の基本方針を念頭に、更なる福祉活動の前進を目指すところです。
・昨年の台風による被害が記憶に新しい中で、風水害に備える講演会を開催し“日頃の備えの大切さ”を改めて再認識しました。
・団体の紹介では、交通安全の奉仕活動に励む5名のメンバー、また、吉野台健友会は、仲間と遊び心で楽しみながら相互の融和を図る素敵なサークルです。 広報紙編集班：大鐘 豊

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第7号

寺谷小域福祉ネットワークだより

編集・発行
発行責任者：熊坂 竜介
問合せ先：「なのはな館」
☎：92-1481

寺谷小域福祉ネットワークを支える5本の柱

高齢者支援班

高齢者の皆さんに、ふれあいの場、仲間づくりの場、および健康増進の場を提供し、支え合い、助け合いの芽が広がる、そんな地域づくりを目指しています。

子ども支援班

資源回収班

寺谷小学校区域福祉ネットワークに限定し、皆さんに親しまれる記事が掲載出来るように広報紙の発行に努めています。

広報紙編集班

安心生活見守り活動を行なっています。対象者を月1~2回程度訪問し、様子を見守ります。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる様に地域全体で支援します。

安心安全支援班

講演会(風水害編)実施される 「自分達の住む町の災害リスクと備え」

昨年千葉県に上陸した台風15号による強風で、建物被害や多数の倒木が発生、追い打ちをかけるように19号、20号の接近により記録的な大雨で浸水や土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。

また9月1日は「防災の日」に当たり、皆さんの災害に取り組む意識向上を兼ねて、「自分達の住む町の災害リスクと備え」をテーマに市原市危機管理課地域防災マネージャーで主幹の石本龍一氏を講師に招き、8月26日小域福祉ネットワーク推進委員を主に多数の受講者を集め、プロジェクターを使用して解りやすく説明されました。

寺谷地区の災害リスク(水害・地震・液状化・避難関連など)から始まり、風水害の避難行動を詳細に、防災気象情報の活用、市から市民への情報伝達、避難勧告等の名称変更について、風水害への対応と備え、訓練・日頃の備えが大切！の言葉で終わりとなりました。

最後に質疑応答があり、町会長・自治会長さんなどが活発に質問・意見を述べられ有意義な講演会となりました。



石本講師と受講中の皆さん

資源回収推進班

班長:大鐘 豊、齋藤 智



1. 資源回収の目的は

市原市では、家庭から出されるごみからリサイクルできる物を大切な資源として回収を推進し、資源の再利用・再使用を図ることで、ゴミの減量化に繋がり、処理施設の延命化、更にごみ処理費用の削減が行われています。

資源回収団体に対しては、市から回収量に応じて助成金が支給されます。

市助成金の1kg単価は、ペットボトル10円 その他4円です。

2. 寺谷小域ネットワークの資源回収事業

地域の皆様の事業に対するご理解とご協力のもと、回収方法に創意工夫した積極的な活動と併せて地域の交流が図られています。



① 回収量はどのくらい?

2018年は108,432kg、2019年が101,216kgで7,200kgの減

② 資源物の中で高く売れるものは何? (1kg単価)

上位3品目・・・アルミ→38円 ペットボトル→12円 鉄くず→6円

③ 収益金はどうしている?

一部は、地域へ還元しています。活動助成金として、町会・子ども会・寺谷小PTAの各団体へ、また、いきいきサロン(茶話会)などの活動を支援しています。

④ お願い

- ・資源物以外の物が出されています。出し方は「資源回収ガイドブック by 寺谷」をご参照ください。
- ・なお、その収益金の減収が年々続いていることから、事業の更なる活性化へ向け、今後ともご協力よろしくお願いします。



子ども支援班

班長:清水 源男

子ども支援班の活動は、寺谷地区の小学生に集ってもらい、種々な行事を開いて子どもたちに楽しんでもらう事です。しかしながら今の子ども達の現状は、塾や習い事で多忙の為に改めて子供たちを集めることは難しいと判断して、現在行われている寺谷小学校の「学び塾」の後方支援を行っていくことになりました。

学び塾の「田植えからカレーライス作り」では、苗の持ち方や植え方、鎌の持ち方や刈り方、カレー作りでは、飯ごうの使い方や火加減の方法などを子どもたちに教え、夏には地域の皆様にご協力していただき、回収したペットボトルでグループ別にいかだを作りプールで遊びます。

冬の支援班主催に拠る「リースとクレープ作り」では、リースの作り方やクレープの作り方を教えながら全員で食べます。しかし今年はコロナの影響で「竹トンボ作り」や「リース作り」、閉校式での「百人一首」以外は開催することが出来ません。下の写真は10月3日に行われた「竹トンボ作り」です。子どもたちが真剣に取り組んでいる姿をご覧ください。

我々子ども支援班は、これからも寺谷小学校「学び塾」の中に主催行事を入れながら、子ども達が未永く寺谷地区を愛せるような活動を行っていきたいと思いますので、これからも地域の皆様には子どもたちの成長を見守りながら、ご支援ご協力をお願い申し上げます。



高齢者支援班

班長:大畑 廣志

私たちが開催している「いきいきサロン」は、広報紙第1号で掲載したように高齢者の皆さんに、ふれあいの場、仲間づくりの場および健康増進の場を提供しています。閉じこもりのない生活を送り、明るく楽しく生活する心を育み、新しいお友達との出会いもあり、参加者と私達支援者との交流を持つことで、支え合い助け合いの芽が広がる、そんな地域づくりに役立てばと思いいの催しを進めています。



この「いきいきサロン」も新型コロナウイルス感染拡大には勝てず、今年2月10日に吉野台自治会館での開催を最後に、皆さんが楽しみにしていた12月の全体茶話会も含め、今年3月からの予定は全て中止にしております。



「いきいきサロン」には、こんな効果があります

- *楽しさ・生きがい・社会参加
- *無理なく体を動かせる *適度な精神的刺激
- *健康や栄養について意識する習慣がつく
- *生活のメリハリ *閉じこもらせない

自然に寝たきり・認知症予防にもつながります

早くマスクを外して、皆さんの顔を見ながら楽しみたいものです。 昨年の全体茶話会(2019年12月)



安心安全支援班

班長:鶴岡 セツ子

安心安全支援班は、寺谷の人々が住み慣れた地域で健康的で安心して、健やかな日常生活が送れますよう、少しでもお役にたてればと、見守りをさせて頂いています。



「安心訪問員」は市原市より委託を受け、定期的に研修を受けた者が、2名以上で訪問いたします。訪問することによって、不安が解消されたり、安心感を持って頂けたらと願って活動しています。

本年度8月に「安心生活見守り活動の紹介」のチラシを寺谷地区全世帯{1402世帯}に配布しました。見守りを希望する方は、近くの民生委員・児童委員、町会、自治会の役員の方に、申し出て下さい。

個人情報の保護などは、十分留意しています。

安心して、気軽にご相談ください。



広報紙編集班

班長:前川 清



各支援班の活動報告に加え、町会・自治会でのトピックス、関係団体からのお知らせ等々。広報紙編集班は、寺谷小域福祉ネットワークの広報活動全般を担当しております。

2020年は、2回(6月、12月)の定期発行に加え、「資源回収ガイドブック BY 寺谷」、「寺谷 風水害ガイドブック」を発行しました。

資源回収に更なるご理解・ご協力をお願いすると共に、昨年体験した台風被害の教訓をもとに、風水害に備えた準備等を調査し掲載しました。これからもタイムリーな話題を提供し、「住んで良かった、住みたい街」皆さんからこんな実感がもてる地域にしたい。そんな思いを込めて広報紙の編集作業に携わっております。



広報紙の編集に携わって頂ける方を募集しております。文章を書くのが好きな方、広報紙を作りたい方、福祉活動に興味のある方 などなど 参加をお待ちしています。